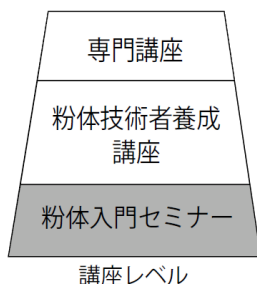


'24 粉体入門セミナー I (第71回)



「粉体とは何だろうか? ~ その性質と評価 ~」

日時：2024年6月5日(水)～6日(木)

10:00～17:00

会場：KITENA 新大阪 201号室

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目18番5号

先端技術の急速な進歩は、新しい、いろいろな機能を持つ材料を要求しています。この新しい機能をもつ材料の創製には、粉体が深く関わっており、とくに希望の性質をもつ粉体を作り、それを高度に制御して材料に作り上げる技術が、現在の材料開発におけるキーテクノロジーであると言われております。

実際に、希望の大きさや形を持つ粉体を作る方法、粉体粒子を複合化して多様な機能を発現させること、粒子を非常に小さくして新たな機能を持たせることなど、粉体技術も新しい材料開発を推し進めるべく、目覚ましい進展をみせております。

この時機に、粉体技術へ挑戦しようとする方、あるいは既に粉体に関わっておられる方々にとって最も大切なことは、もう一度「粉体とは何なのか? もともとどんな機能を持っており、それをどのように引き出し、どのように評価するのか」などについて十分整理し、一層深く理解することで、それが粉体を上手に活かすユニークな発想の源泉になるものと思います。

そこで、粉体入門セミナー(I)として「粉体とは何だろうか? その性質と評価」をテーマにとりあげ、この方面でご活躍の方々を講師に迎えて開催します。新しい材料の創製とそのプロセス開発に携わる技術者にとって必要な“粉体の科学と工学”を十分に整理し、そのエッセンスを易しく解説して頂きます。

粉体入門セミナーは、最新の「粉体工学の基礎」を体系的に学習して頂けるようシリーズで企画し、(I)(II)(III)と3回に分けて開催いたします。テキストは、図表と解説を1ページにセットした分かりやすい、資料価値の高いものにしました。加えて、ナノテクノロジーにも踏み込んだ内容を盛り込みました。斬新なテキストを準備し、質疑応答を交えて分かりやすく解説いたします。

- ・ 新入社員～入社2、3年目の方の社員教育として
- ・ 今一度粉体技術を体系的に勉強したい方に
- ・ 営業関係だが、粉体技術の基礎を知っておきたい方に

受講をお勧めいたします。

主催：一般社団法人 日本粉体工業技術協会
共催：一般社団法人 粉体工学会
協賛：公益社団法人 化学工学会

プログラム

第1日目 6月5日(水) 10:00~17:00 (質疑応答を含む)

① 不思議な粉の世界 (10:00~12:00)

同志社大学 理工学部 教授 白川 善幸 氏

粉体は流体と違ってその取り扱いが困難で、種々のトラブルを引き起こします。とくに粉体が微粒子になればなるほど難しくなります。なぜ難しいのか？そしてどのようなことに注意しなければならないのか？一方で、微細化して微粒子にすると、体積に比べ、表面積が増すので反応性、付着性、流動性、成形・加工性などの種々の効用が付与されます。これらの微粒子の取扱いの困難さの克服と効用を引き出す粉体技術の考え方を、微粒子分散系を含む粉体全般にわたって平易に解説します。

～・・・～ 昼食 (12:00~12:50) ～・・・～

② 粉体粒子の大きさと密度 (12:50~14:50)

岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 後藤 邦彰 氏

粉体を理解し利用するにあたって基礎となる粉体粒子の大きさについて、大きさの表わし方、粒子径の決め方、粒子径分布の表し方と表わす際の注意点、平均の大きさと平均粒子径を解説します。また、粒子径測定技術について、測定原理や測定上の注意点なども説明します。さらに、粉体および粉体粒子の密度の考え方についても解説します。

～・・・～ 休憩 (14:50~15:00) ～・・・～

③ 粉体の力学特性と流れ (15:00~17:00)

東北大学 多元物質科学研究所 教授 加納 純也 氏

粉体操作の目的を達成するためには思い通りに粉体を流動させることが大切ですが、粉体の流れは流体の流れとは非常に異なり、粉体特有の流れのメカニズムを十分に理解することが大切です。ここでは、粉体流れを決める粉体の力学的パラメータとその測定法、重力場、振動場や圧縮力による粉体の流れのメカニズムとその利用、ならびに粉体の流動性とその測定法について粉体シミュレーションによる動画を用いて詳しく解説します。

テキストは事前送付。若干の数式は含まれます！

第72回粉体入門セミナー(Ⅱ)「粉をつくり、そして利用するために」は6月18日(火)~19日(水)、第73回粉体入門セミナー(Ⅲ)「粉をあやつる」は7月10日(水)~11日(木)に開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

第2日目 6月6日(木) 10:00~17:00 (質疑応答を含む)

① 気体中の粒子の性質 (10:00~12:00)

京都大学名誉教授 松坂 修二 氏

気体中で微粉体を扱うとき、粒子が装置の壁に付着したり、粒子同士が凝集したり、安定した操作が困難になることをしばしば経験します。また、各種機械的単位操作で粒子が強く帯電すると、静電気力や放電による障害や危険のリスクが高くなります。ここでは、このような問題に対処するために、気体中の粒子の付着力と接触・摩擦帯電の基礎を解説します。

～・～・～ 昼食 (12:00~12:50) ～・～・～

② 液体中の粒子の性質 (12:50~14:50)

福岡大学 工学部 化学システム工学科 教授 新戸 浩幸 氏

液体中の粒子集団が形成する構造およびその動的挙動を理解し制御することは、粒子ペーストやセラミックス材料などの製造プロセス、液体中の粒子の固液分離プロセスなどを高精度化・高効率化するために、とても重要になります。そこで本講義では、液体中の粒子集団の凝集・分散挙動を支配する基礎メカニズムを解説します。

～・～・～ 休憩 (14:50~15:00) ～・～・～

③ 流体中での粒子運動 (15:00~17:00)

大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 教授 田中 敏嗣 氏

粉粒体の輸送、分離、分級、混合、乾燥、造粒など様々な操作に流体の流れが関与しています。また、微小粒子では、流体の流れの積極的な関与がない場合でも、周囲流体の影響は無視できません。本講義では、粉粒体の流体中での運動を取り扱う場合の基礎となる、希薄から高濃度にわたる各種流体力、粒子の流体運動への応答性の評価法について講述するとともに、流体と粒子の相互作用による各種構造形成について数値シミュレーションによる動画を用いて解説します。

希望者には、講座修了証 (A4 縦賞状タイプ) を発行しております。

ご希望の方は、申込時に「修了証 要」を選択してください。講座終了後に発行し、郵送いたします。

問合せ先:

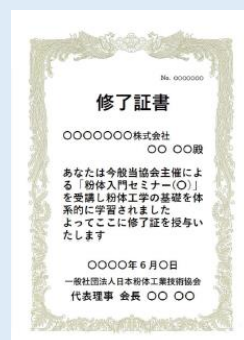
一般社団法人日本粉体工業技術協会 本部

〒600-8176

京都市下京区烏丸通六条上ル北町 181 第5キョートビル7階

TEL: 075-354-3581・FAX: 075-352-8530

e-mail: nyumon@appie.or.jp



参加申込要領

1. 定員：70名
2. 参加費：

	日本粉体工業技術協会 会員		粉体工学会 化学工学会 会員	一 般
	通常	2024年度 特別協賛会費申込		
全2日間	41,800円 うち消費税等 3,800円	20,900円 うち消費税等 1,900円	41,800円 うち消費税等 3,800円	47,100円 うち消費税等 4,281円
I、II、III 全シリーズ参加 (特別割引価格)	104,600円 うち消費税等 9,509円	52,300円 うち消費税等 4,754円	104,600円 うち消費税等 9,509円	125,700円 うち消費税等 11,427円

上記金額は、昼食代、テキスト代および消費税（10%）を含みます。

3. 参考書籍販売：希望者のみ販売。テキストと一緒に送ります。

書籍	日本粉体工業技術協会 会員		粉体工学会 化学工学会 会員	一 般
	通常	2024年度 特別協賛会費申込		
粉体用語ポケットブック	1,584円 うち消費税等 144円		1,980円 うち消費税等 180円	

上記金額は、消費税（10%）を含みます。

4. 申込方法：

①日本粉体工業技術協会のホームページからお申し込みください。

URL： <https://form.run/@registration-nyumon>

②申込受付後、受理書をE-mailで送信いたします。

こちらのQRコードからも
申込フォームにアクセス
できます。



5. 申込締切日：2023年5月15日（水）（ただし定員になりましたら、締め切ります。）

6. 支払方法：銀行振込、またはクレジットカード決済となります。

①銀行振込をご希望の場合は、別途郵送する請求書に記載の口座へお振込みください。

日本粉体工業技術協会会員・・・7月末日までにお振込み下さい。（請求書は7月1日発行）

粉体工学会、化学工学会会員、一般・・・6月4日までにお振込み下さい。

※請求書の到着をお急ぎの場合はご連絡ください。 ※振込手数料は、貴社にてご負担願います。

②クレジットカード決済をご希望の場合は、

別途ご連絡いたします URL リンクより必要事項をご入力の上、期限までにお手続きください。

※お支払いいただいた参加費は返金できません。欠席の場合は代理の方のご参加をお願いいたします。

※2024年5月16日（木）以降のキャンセルは受付できません。



<新大阪駅出口のご案内>

・JR 東海道本線 新大阪駅

在来線：東改札口を出て左に直進し、東口⑪へ。

新幹線：南改札口を出て左に直進し、東改札口の前
を通過して東口⑪へ。

・大阪メトロ御堂筋線 新大阪駅

中改札から出て5番出口を直進。

右手の階段を上がり、JR 新大阪駅 東改札口の前
を通過して東口⑪へ。